

## 2

## 基本構想

## 2. 基本構想

### 2-1 基本方針

#### ①事業コンセプト

## 科学にふれあい、未来をつくる

未来を担う春日部の子どもたちが、さまざまな活動や人との関わり合いを通し、日常的に科学とふれあうことで、科学知識や科学的な見方・考え方を身に付け、これからの世の中を力強くしなやかに生きるための資質や能力を育成する場所づくりをします。

#### ②目指すべき児童館の方向性

予測不可能な社会において  
未来の創り手である子どもたちに  
求められる資質・能力=「生きる力」

確かな学力と共に、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し問題を解決する力や、他人と協調し、他人を思いやる心や感動する心など、豊かな人間性も含め「生きる力」がこれからの時代に必要な資質・能力です。

「科学」を「生きる力」の強力なツールにする場  
科学による学びは、わたしたちが生きている世界についての深い理解と、  
これから子どもたちが担う「未来の創造」に直結する。

ここで示す「生きる力としての科学」とは、理科の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら問題を見いだして解決策を考えたり、知識を相互に関連付けてより深く理解できたり、自然の事物・現象についての問題を「科学的に解決するために必要な資質・能力」を指します。

#### 子どもたちへのメッセージ

これから世界へ踏み出すために  
ここで地図を広げ、未来をつくる準備をしよう

- ・「世界」とは身の回りのくらしから地球、宇宙の果て、そして未来です。
- ・世界へ踏み出し、旅をしていく主人公として、その旅を面白く、世界の果てのその先を見つけよう。
- ・そして、世界を知るための、そして困難に出会った時に助けになる、強力な道具=「サイエンス」を学ぼう。
- ・サイエンスを携え、一緒に世界へ飛び出す旅の準備をしよう。

「科学」(science) という語はラテン語の scientia (知識・知ること) に由来する

## ③施設のあり方

## 「子どもサイエンスアカデミー」

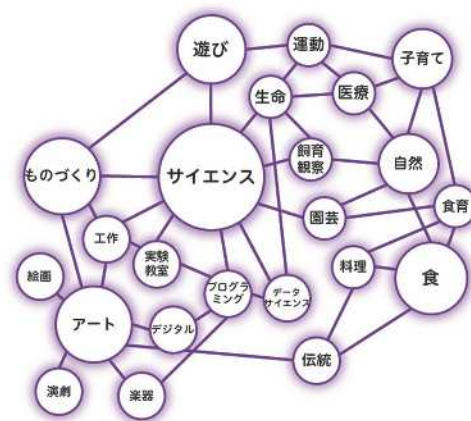
子どもたちが未来を「力強く、しなやかに生きていく」ための知恵、そして人とのつながり方を、さまざまな活動を通じて育てていく場所。

### ■「子どもサイエンスアカデミー」の特徴

- 従来の「ミュージアム」、「児童館」といった枠組みに捉われない新しい学びと育ちの場所。
- 日常的に、何度も通いたくなり、そして生涯通う場所。（学ぶ側から将来的には教える側へ）
- 関心に応じて、多彩なテーマ、深度で学べる場所。
- 与えられたものを受け入れるだけではなく、自ら学び、自ら考え、ステップアップする場所。
- 本格的なテーマ・設備・人材が整った環境で学び成長できる場所。
- 「今」を生きるわたしたちに必要なことを学ぶと同時に、常に子どもたちの成長の先にある「未来」を共に描き、創り出す場所。

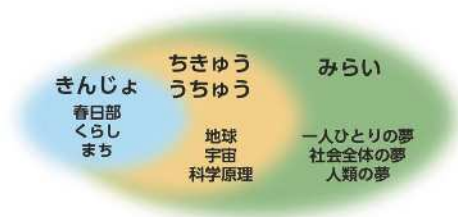
### サイエンスを中心にした 活動・学びの広がりイメージ

サイエンスを中心に、興味や関心に応じたプログラムやコンテンツが有機的に広がる、何度来ても何年来ても飽きない施設。



### ■学びの領域／目標

1. きんじょへの探索：  
身の回りの自然、くらしやまちの根底にある科学
2. ちきゅうとうちゅうへの探検：  
地球・宇宙のしくみやその根底にある普遍的な科学原理
3. みらいへの挑戦：  
たどり着きたい未来の夢を描き、  
それを実現するための挑戦



### ■育まれる能力

1. くらし・社会・世界・宇宙のしくみ・科学原理や技術の理解
2. 科学的なものの見方・考え方、その使い方の獲得
3. 世界にどんな人が住んでいるか知り・関わる（世代交流・地域交流・国際交流）
4. 科学の言語・プログラミング言語・楽譜・外国語など、他者との知識共有の手段

## 2. 基本構想

### 2-2 事業活動の構成と内容

#### ①事業活動の構成

##### 居場所・学び事業

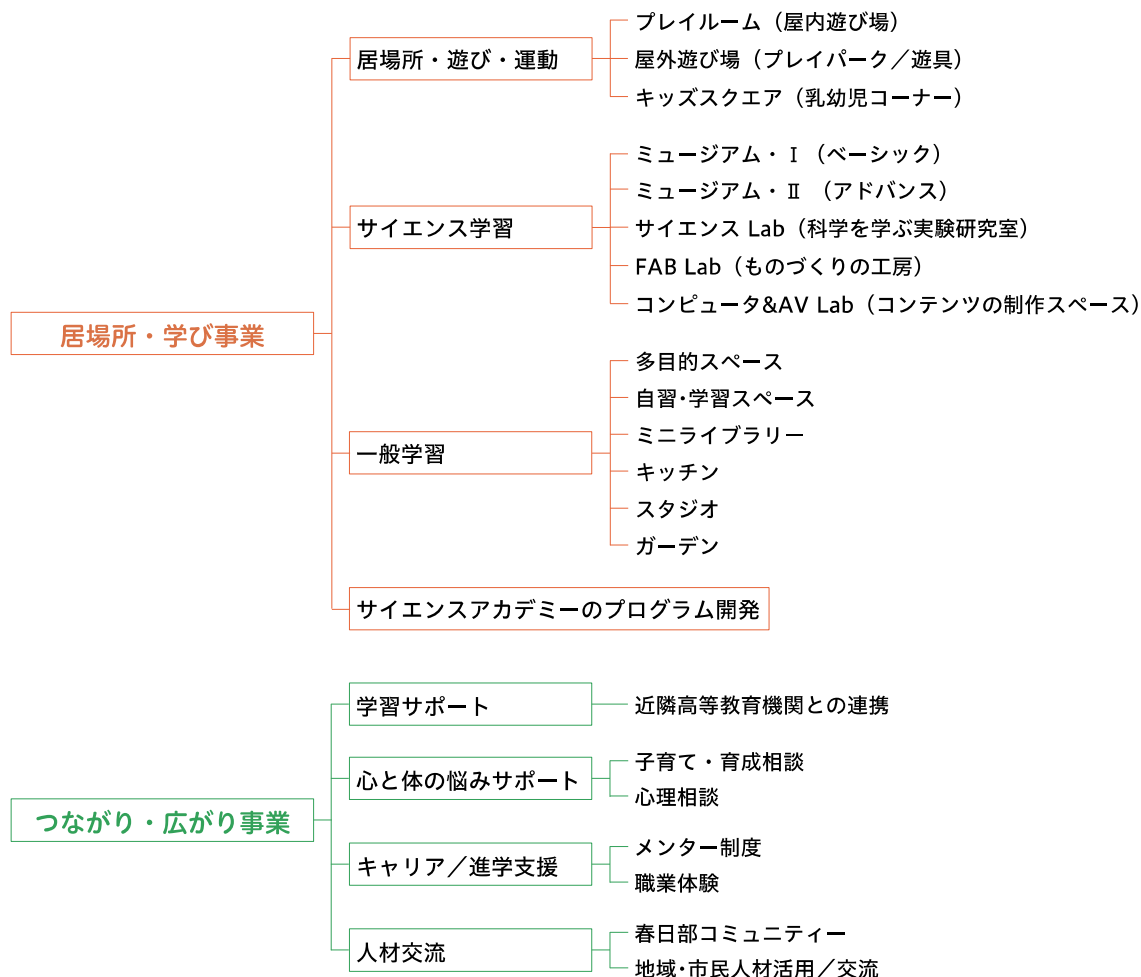
子どもの居場所、遊び、学び、運動などに関わる活動に関する事業

STREAM (Science (科学)、Technology (技術)、Robotics (ロボット工学)、Engineering (工学)、Art (芸術)、Mathematics (数学))をはじめ、自然とのふれあい、運動、遊び、食育、郷土学習など子どもの育成に必要な学び・活動を統合的に行います。

##### つながり・広がり事業

子育て支援・キャリア支援・人材／地域交流に関する事業

子育てに関わる人すべて（家族・地域）のつながりを保ち、互いに支え合う場としても機能します。子どもたちの成長を継続的に支え、やがてその人の輪が世代を超えて継承されていくことを目指し活動します（児童福祉法第6条の3第6項に規定する地域子育て支援拠点事業を含む）。



※ここに記載した事業は、今後詳細な検討を進めていくことから変更となる可能性があります。

## ②事業活動の内容

## 居場所・学び事業

今後の時代・社会で必要とされる資質・能力

『自分の頭で考え主体的に追求し、感性を働かせて課題を解決していく力』

予測困難で見通しがきかない時代の到来

- ・ これまでは均一的で答えが定まった問いを解くだけだったが、あらゆる課題に柔軟に対応できる創造性や柔軟性、感性が重要に。
- ・ 決まりきったことを覚えるだけから、膨大な情報の中から必要な情報を取捨選択し、自分の持つ知識や技術を統合し活用する力が重要に。



今後の時代・社会で特に必要とされる知識・技術

『理数・テクノロジーに関する知識・技術』

新しい時代（Society 5.0※）の到来

IoT※、AI※、ロボット、ビッグデータ※など近年急速に進展している第4次産業革命をあらゆる産業や社会生活に取り入れることにより、さまざまな社会課題を解決する「Society 5.0」の到来。



理数教育向上の急務

AI、ロボット、ドローン、ビッグデータなどに代表されるように、STEM（Science（科学）、Technology（技術）、Engineering（工学）、Mathematics（数学））は社会のあらゆる場面の基礎となる。そのような時代に新しいイノベーションを生み出す人材を育てるには、これらの領域に関する知識や技術が必要不可欠。



未来を担い、創り出す人間に必要な

サイエンス・テクノロジーを基軸とした次世代を生きるための学び

単に知識を獲得するだけではなく、以下のプロセスを大事にします。

- ・ 「領域横断的・統合的・有機的な広がりと自由度」のある学び
- ・ 「課題解決やものづくりのプロセス」を通じた学び
- ・ 「社会・世界と繋がった実践的」な学び
- ・ 「他者との協働」を通じた学び
- ・ 「創造性・自主性」を大切にしたい学び

※Society5.0：サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を連携し、すべてのものや情報、人をつなぐとともに、AIなどの活用により量と質の全体最適をはかる社会のこと。

※IoT：もののインターネット（Internet of Things）。身の回りのあらゆるものがインターネットにつながる仕組みのこと。

※AI：人工知能（Artificial Intelligence）

※ビッグデータ：既存の一般的な技術では管理することが困難な大量のデータ群。

## 2. 基本構想

### ②事業活動の内容

#### つながり・広がり事業

サイエンスアカデミーは子どもたちの居場所・学び場であると同時に、子育てに関わる人すべて（家族・地域）のつながりを保ち、互いに支え合う場としても機能し、子どもたちの成長を継続的に支え、やがてその人の輪が世代を超えて継承されていくことを目指します。

#### 事業例

##### 学習・心と体の悩み・キャリア／進学支援

- ・親と子、心と体の悩みサポート（専門相談員）
- ・理数学習／活動サポート（教員志望学生）
- ・メンター制度（キャリア／進学支援）

- ・子育て支援／ボランティア活動／見学／体験会や相談会（学校／職場見学・体験）
- ・理数教員志望の大学生のトレーニングの場
- ・マイスター（職人・ものづくり）弟子入り体験など

##### 親と子、心と体の悩みサポートのイメージ

専門相談員による、健康に関する心身の問題をサポートする相談窓口



専門の相談スタッフ

##### 理数学習／活動サポートのイメージ

理数教員を目指す大学生・大学院生に実験の練習や授業の訓練を兼ね、アカデミーの運営に参加してもらう。



人材確保・育成  
将来的に正規スタッフとしての登用への道



経験・技能の取得  
教員レベルの向上  
学校の理数教育レベルの向上

##### メンター制度のイメージ

憧れの進路に進んでいる先輩からのアドバイス／相談



子ども時代 青少年時代（中高生） 大人（大学～若者）

成長する過程で自分もメンター側になる

##### 人材交流

- ・春日部コミュニティ
- ・アカデミーの運営参加を通じた多様な人々の交流（違いを超えた交流や学び合い）

- ・定期交流イベント、講座、活動のボランティアスタッフ／講師としての参加
- ・世代、性別、国籍など多様な背景を超えた学び合いのシステム（講座講師）

など

##### 春日部コミュニティのイメージ

普段は交流する機会の少ない学区外や他学年の家族／親の交流。また、アカデミーの運営に参加することで、地域一体の子育ての取組みを実現。



オール春日部 家庭同士のつながり

##### 地域・市民人材活用／交流のイメージ

ただ無目的に交流するのではなく、「人生の先輩」として、あるいは「若い人から教えてもらう」、「専門家から学ぶ」など明確なアカデミー事業への参画を通じ交流を図る。



多様な能力／文化背景／多世代の人々が得意分野を持ち寄り学び合う